

広 報 ま っ だ い

昭和42年12月20日発行
 第119号
 東頸城郡松代町公民館
 館長 富沢清次
 電話 松代6番
 印刷 松代印刷所

第四回定例町議会終る

昭和三十二年補正予算など

去る十二月十五、十六日の両日にわたり、第四回定例町議会が開催され、四十二年度の一般会計補正予算などの問題が取上げられ、真剣に審議が重ねられました。尚議決をみたものは次のとおりです。

議第一号 桐谷小中学校組合規約の一部を改正する制定について
 議第二号 新潟県町村人専事務組合規約の一部を改正する規約の制定について
 議第三号 昭和四十二年松代町一般会計補正予算
 議第四号 昭和四十二年松代町

国民健康保険特別会計補正予算
 議第五号 昭和四十二年松代町建設機械施設事業特別会計補正予算
 議第六号 松代町税条例の一部を改正する条例の制定について
 議第七号 松代町干害対策用施設管理及び処分に関する条例の制定について
 議第八号 松代町、奴奈川町村合併等に伴う関係条例の整理に関する条例等を廃止する条例の制定について
 議第九号 松代町職員の休日、休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について

歳入歳出予算補正

〈歳入〉 (単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2	地方交付税	128,742	6,525	135,267
	1 地方交付税	123,742	5,827	134,569
	2 臨時地方財政交付金		698	698
5	国庫支出金	11,907	518	12,425
	2 国庫補助金	5,689	518	6,207
6	県支出金	19,946	553	20,499
	2 県補助金	17,420	548	17,968
	3 県委託金	2,388	5	2,394
8	寄付金	10,422	390	10,812
	1 寄付金	10,422	390	10,812
10	諸収入	4,868	402	5,270
	3 雑収入	4,517	402	4,919
歳入合計		248,301	8,388	256,689

〈歳出〉 (単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1	議会費	6,769	△ 330	6,439
	1 議会費	6,769	△ 330	6,439
2	総務費	50,744	694	51,438
	1 総務管理費	35,550	689	36,239
	5 統計調査費	1,679	5	1,684
3	民生費	12,102	179	12,281
	1 社会福祉費	5,784	54	5,838
	2 児童福祉費	5,998	108	6,106
	3 災害救助費	320	17	337
4	衛生費	4,944	132	5,076
	1 保健衛生費	4,869	132	5,001
5	労働費	5,323		5,323
	1 失業対策費	3,436		3,436
	2 労働諸費	1,887		1,887
6	農林業費	41,008	2,377	43,385
	1 農林業費	34,971	1,628	36,599
	2 林業費	6,037	749	6,786
8	土木費	44,284	1,988	46,272
	1 土木管理費	9,018	1,988	11,006
9	消防費	8,642	380	9,022
	1 消防費	8,642	380	9,022
10	教育費	46,621	2,768	49,389
	1 教育総務費	7,151	1,608	8,759
	2 小学校費	21,554	1,148	22,702
	7 教職員寮管理費	144	12	156
11	災害復旧費	13,063	200	13,263
	3 農林施設災害復旧費	733	200	933
歳出合計		248,301	8,388	256,689

松代町五万俵突破 記念大会が挙行

売渡総数遂に五万二千俵

秋も深まった十一月二十三日（勤労感謝の日）松代小学校においてかねての念願であった売渡米五万俵の突破記念大会が盛大に行なわれました。

植付以来大旱害に関係者の心をいたため、日夜農家の皆さんの奮闘もある、多少の災害はあったものの松代町史上最高の出俵数といわれた昨年度をはるかに大まわり、一同の喜びを見るのが出来ました。この日午前九時半から会場は熱気にあふれ、町長挨拶につぎ各方面よりの祝辞がのべられ、記念講演として県専門技術員村山鍊太郎氏の「山間地稲作について」の演題のもと約一時間半のお話がありました。この席上発表された各農業協同組合別の統計をみますと上表の通りとなります。これは昨年度より六三四俵の増ということになります。

年産別	松代	山平	奴奈川	合計
42年産	24.392俵	15.173俵	12.717俵	52.282俵
41年産	20.617	13.800	11.522	45.938

区分	1等	2等	3等	4等	その他	計
松代42年産	852俵	12.540俵	10.427俵	468俵	105俵	24.392俵
松代41年産	—	2.569	11.899	6.373	425	21.266
山平42年産	468	5.398	8.710	576	21	15.173
山平41年産	—	3.228	8.612	1.943	53	13.836
奴奈川42年産	99	6.472	5.745	380	21	12.717
奴奈川41年産	—	969	8.184	2.871	102	12.126

今年も正月帰省 バスを……

松代町出稼組合で計画

昨年度各方面の注目の中に実現した出稼者正月帰省バスの成果は大きな反響をよび、出稼された方々から好評を受けたので今年も昨年度の計画運営の反省の上になつて、早くより企画にのりだし、その実行にうつることになりました。これによると今年も昨年度の東京、名古屋方面に加えて大阪方面への運行も考え関西方面の方々に利用してもらおうようになっていきます。

先ず東京方面は十二月二十八日（二台）二十九日（一台）三十日（一〇台）の三日間にわけ、それぞれ車は上野公園から出発し、大宮、熊ヶ谷を通り翌朝松代着の予定です。

名古屋方面は十二月二十八日（

各部落公民館の充実

公民教育の場の設置へ

今年度当初町当局及び中央公民館は町内各部落に自主公民館の設立をよびかけ、その設備に助力をする旨決議いたしてきましたことはすでに衆知の事と思いますが、町内各地に続々その設立を見、現在三〇部落が設置報告を教育委員会によせてきました。数多くの問題をもつ部落の中で、成人・青年老人・婦人と共に学習し、会合をもつ機会が多くなっている現状です。このときにあたり、その場の設定こそもっとも根本的な問題として各部落がその設置に力を入れられたことに対し関係者は喜び合っています。設置を見た各部落公民館はそれぞれ独自の計画をたて、その運営活動の実をあげていることは、単に従来の部落行政一本と違うことに公民教育が加わり、村づくりの実がむすばれて、今後の方向を明るくしています。「家庭の日」を部落ぐるみで体力づくりにあてた部落公民館「婦人学級」に力を入れ、とかく言われ

（一）三十日（二台）を予定し、名古屋新幹線駅前より出発、翌朝松代着の予定です。

又大阪方面は二十九日（一台）三十日（一台）を梅田駅北口より出発、京都駅を通過して帰町という予定です。

例年正月帰省列車の混雑から帰省をあきらめてしまう人もあった状況からまぬがれ、又料金も割安となる為帰省申込みが殺到し、係はその運営方法に大わらわの現状ですが十日現在の申込者は東京方面約三百五十名、名古屋方面約百名、大阪方面約五十名位です。

この計画は、関係者はもちろん各方面の協力を得て初めて実施されることですので、その運営の成功を心から祈ってやみません。

又町当局でもバス道路の確保に力を注ぐべく計画もたて、出来たら直江津までの三日と七日位までの臨時バスも考えたいとのことです。

やすい出稼問題の対策にのりだした部落公民館等、ただ部落行事だけにとどまらず、積極的に問題解決への動きを見せている。これらの部落公民館の今後に大いなる期待と活動の成果をお祈りいたしております。（写真—小屋丸部落の体力づくり）



国民年金を見直そう

六万円ももらえない人

一円ももらえない人

先日、住民の方からこんな電話をいただきました。
夫を亡くされた或末亡人の方からですが、〇〇さんと私は同じ境遇なのに〇〇さんは国民年金を貰っているが、私には呉れない役場は何しているのだと言葉も荒々しい電話でした。

言葉をやわらげ、相手の落ち付くのを待って聞いてみると、国民年金に加入していなかったことがわかりました。
国民年金は他の公的年金制度に加入しているか、その配偶者でない者は、二十才以上の日本国民は全部加入しなければならぬことになっていきます。

しかもこの人は国民年金に加入していない人が制限される、所得が本人の場合二六万円、扶養義務者の場合四二六、八一三円の所得制限にひっかかって支給停止になり一円も貰えない人でした。
掛金を掛けた場合は所得が何百万何千万あると自分が保険料を納めたのですから貰う権利があり何等の制限を受けることなく約策どおりのお金が貰えることになりました。

月百五十円（現在は二百円）納めたと納めないのでは、一円も貰えない人と、年に六万四千八百円（子供三人の母子年金）も貰える人との差が出て来ました。
毎年チラシや通知で宣伝を繰り返してききましたが、まだこのような人がいるとは驚く他ありません。お年寄りの場合のように保険料を納めないで貰う福祉年金が出来てから八年余り、保険料を納める拠出年金が出来てから六年余り、国や県では、すでにPRの時期は過ぎた。これで加入しない人は、もう年金を貰えなくても止むを得ないと言っています。
国民年金は、年寄りになってから貰うばかりでなく、夫に死なれた

妻と子に支給される母子年金、準母子年金、中風や結核、心臓病の重症者。その他身体に障害が出来た場合に支給される障害年金など色々な恩典があります。
年金の額もその時々、物価に依りて年金額が調整され、米一俵が一万円になれば年金もそれに依りて増額されます。
昔米一俵づつの掛金を掛けたのに貰う時になつたら米一升しか貰えなかったなどという泣くにも泣けない制度がありました。国民年金に限ってそういうことはありません。国民年金は国が社会保障の

昭和42年度

葉たばこ収納成績発表される

異常な早ばつで植付当時心配された葉たばこも予想以上の成績をおさめ、葉肉もあって質ともによ

一環としてやっている制度です。発足当時はとやかく批判を受けましたが、そろそろ身をもって有難味のおかる人々が出ておられます。現在はまだ、夫を無くしたとか、身体に障害の出来た人等いわゆる不幸な方々のみ支給されていますが、あと五年もたちますと一般の人が貰う老令年金の支給が開始されます。その時になると俸給生活者が給料を貰うのと同じように村中が郵便局へ年金を貰いに行くことになります。その時になって他人をうらやましがっても時すでに遅いです。
満二十才になつたら加入届を役場へ出して下さい。出稼者のように厚生年金等の公的年金を止めたらすぐ国民年金に加入して下さい。国民年金は国が、あなたの幸せを守るために作った制度です。

(文責 高橋芳平)

く、一〇アール当り町平均は九三、六六三元、K当り四二五円という成績でした。収量も四一、三一八、〇kgとなり、耕作面積の減少にもかかわらず、反当り収量は三二kgも多く、関係者を喜ばせておられます。くわしい表は別表のとおりです。

昭和42年産葉たばこ納付成績集計表

部落名	耕作人員	耕作面積	収量	収納代金	10アール当		K当
					収量	代金	
町代上	4	52.4	914.5	320,810	174	61,107	351
町代中	7	74.0	1,810.5	887,835	245	119,978	490
町代下	11	107.1	2,423.0	1,043,160	226	97,401	431
平刈	11	171.2	4,404.5	2,037,500	257	119,013	463
刈丸	2	13.1	216.5	76,910	165	58,710	356
丸畑	1	34.5	707.0	280,975	205	81,442	397
年尻	1	10.0	222.0	91,315	222	91,315	411
伏水	3	37.4	920.0	383,730	246	102,602	417
地山	1	7.0	167.5	78,360	239	111,943	468
沢子	5	51.7	1,112.0	447,765	205	86,608	422
島	8	132.1	2,953.0	1,223,480	224	92,618	413
桐	8	128.4	2,672.0	1,103,455	208	85,939	413
山	19	283.7	6,887.5	3,200,205	243	112,802	465
沢	7	85.3	2,145.5	959,330	252	112,465	446
地	4	64.7	1,606.0	692,600	248	107,048	433
山	2	19.7	458.5	186,240	233	94,538	406
沢	7	108.6	2,404.0	955,820	221	88,013	398
子	6	72.2	1,341.5	546,445	186	75,685	407
島	6	72.2	1,341.5	546,445	186	75,685	407
小計	107	1,453.2	33,365.5	14,515,935	228	99,889	438
納	3	23.9	446.5	187,530	187	78,464	420
平	5	102.9	1,900.0	742,070	185	72,116	390
貫	2	14.5	306.5	119,755	211	82,590	391
平	3	39.6	820.5	283,965	207	71,708	346
生	7	71.9	1,444.5	529,610	201	73,659	366
明	3	45.4	871.5	341,465	192	75,213	392
小計	23	298.2	5,789.5	2,204,395	194	73,923	407
野	3	24.2	397.0	160,770	164	66,434	405
濁	1	11.1	216.5	99,605	195	89,734	460
峠	5	63.5	1,093.0	407,365	172	64,151	373
原	3	25.3	456.5	178,411	180	70,520	391
小計	12	124.1	2,163.0	846,155	174	67,378	387
合計	142	1,875.5	41,318.0	17,566,485	220	93,663	425

皆で協力

年末年始の事故防止に



◎となり近所が手をつなぎ明るいう年始を迎へましょう。
 ◎スノータイヤにチェーンをつけ安全速度でまず完全。

交通戦争の名をもってよばれる交通事故の激増、又毎日のように新聞テレビなどに少年非行ニュースが見られますが、今や一日の猶予も許されない重大な社会問題であります。松代町においては交通安全運動及び防犯運動推進については、関係団体とも活発に運動を展開していることは力強く感じているとこで心から敬意を表するとともに深く感謝申しあげます。皆さん、年の瀬も押し迫ってなにかと気ぜわしい時期となりました十二月の刑法犯の発生はふだんの月より十五%前後ふえているのが通例になっており、歳末を明るくするために次の目標をよく守り明るい新年を迎え平和な松代町の建設にご協力下さい。

▼目 標 ▲

一、盗難防止

①一年で一番お金の移動する月ですので防犯設備を強化し被害にかゝらないようにしましょう
 ②商店の皆さんにはいつも店舗に出て(スキ)のないようにお願いします。

二、歳末における交通事故防止

①寒いので飲酒の機会が多くなりこれが原因となりおまわぬ大事故が発生しやすいので、歩行は充分気をつけ又運転者は(ハ

ンドル)をもつ時は絶体飲まないようにしましょう。
 ②積雪凍結により自動車のスリップ事故が発生しやすいので次のことをよく守り安全運転にとめましょう。
 ※スノータイヤにチェーンを携行装着して下さい。
 ※急ハンドルをさけ安全速度を守

※歩行者は車の停止距離が長くなるので横断するときは確実な合図をして下さい。
 ※道路がせまくなり歩行者は寒いので顔をおおい(聴視力)がなくなるので運転者、歩行者お互いに注意しましょう。

①火気取扱い場所の再点検
 ②取灰の始末は確実に
 ③ねる前、出る前に必ず火の元をたしかめましょう
 ④ガスボンベは使用後は必ず元栓をしっかり締めておく。ホースは熱の上るところや燃え易いものから離しておくように、又ボンベを家外に出しておく家庭では、ホース及びパイプが雪の為に覆いをしてしましよう

※出入口の除雪を完全に道路は常に広く非常の際に備いませう
 ※各家庭には消火器を必ず備えま

しよう
 四、二十九日三十日三十一日と正月帰省バスで父兄さん方が帰って来ますが事故のないようにあたたかく明るくお迎えしましょう

松代町防犯組合
 松代町交通対策議会

譲渡所得についての

お知らせ!!

土地や建物などの資産を売った場合の所得を譲渡所得といい、譲渡代金から売った資産の取得費や仲介手数料、登記の費用などを差引いた金額(譲渡益といいます)から譲渡所得の特別控除額三十万円(譲渡益が三十万円未満の場合はその全額)を控除して計算します。この場合、売った資産が三年をこえる期間所有したものであれば譲渡所得金額の2分の1だけが課税の対象になります。

また土地や建物などを売ってその代金で一年以内に住宅を買った場合は居住用財産の買換の特例があり、土地取用法などにより資産を買い取られた場合には譲渡益をまず2分の1にして計算するという特例を受けることができます。譲渡所得は翌年の二月十六日から三月十五日までの間に所得税の確定申告書によって申告納税することになっていきます。

譲渡所得のことでおわかりにならないことがあったらいつでも税務署へおいでになって相談下さい。毎月五日は税の相談日です。(高田税務署)

して遠山へきをくつきりと写す

柳 コメ

責めらるる思ひして歌作る今日の歌会はされどうれしき。

落城の無念の姿ガイドする東北弁の乙女肥えおり。

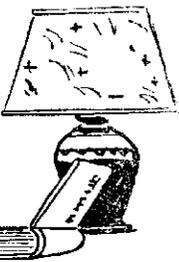
山岸千鶴子

やうやくに治療効果のあらわれし癌患者の今朝は明るし。

井上 ヨイ

夢に見し母はやさしく笑みていぬ口をきかぬはただにもどかし解禁の日をまち陀びしハンターの夜明けとともに放つ銃声。

文芸



さわらび歌短会

さわらび短歌会昭和四十二年年度年間秀歌は次のとおり

高橋 芳平
 。 汐海川夕べの雨に増水し陽の射す今も赤く流るる。
 。 おとろえて露置かぬまでかたむ

齊藤 文雄

。 たくましく海藻採るをとめらのすでにし海をわがものとせる。
 。 眼下に展げし海の閑かにて樹々たつ岩の影もうごかず。
 。 この秋のしまひとならむ日のさ

本山 祖道

。 採点に倦みたるまなこ窓に寄り長月十日のかさを持つ月。
 。 夕光り小荒戸山に射すあたり糶焼く煙り淡く藹なす。